

【取組内容②】 生徒の情報活用スキル向上を目指した朝学習の充実

タイピングスキル向上から始まった取組

毎週木曜日の朝は「ICT朝活」と称して、全校生徒が情報活用能力向上を目指して活動している。本校生徒会活動の中の報道委員会にICT部署を創設して生徒主体でICTの活用を進める活動場面を設定した。その一つがICT朝活である。当初はタイピングスキルの向上を目的として取り組んできたが、生徒のレベルも上がってきたことから、ショートカットキー講座やデジタルシチズンシップ教育に関する講座など、15分～20分で学べるものを企画している。

NHK for Schoolの番組を視聴してその内容を考えたり、クイズアプリも活用したりすることで、全校生徒が楽しみながら集中を持続して取り組める工夫もしている。

毎週のワクワク感とスキルアップ

右の動画は、授業でよく使うショートカットキーを確認するテストの様子である。ICT朝活にゲーミフィケーションを取り入れて、ワクワクする時間を作りだしている。

ときには、学級全体で「フェイクニュース」について考える時間をつくり、NHK for Schoolの番組を活用して取り組んでいる。

情報モラルばかりではなく、ICTの可能性も知ってもらえるように、バランスよく委員会の生徒と一緒に考えながらプログラムを組んでいる。

この朝活のような、学校全体で情報活用能力を高める時間措置を、地域の学校でも提案した。今年度、地域にある3つの小学校でタイピングコンテストに取り組む予定である。



タイピング練習の様子



グループでクイズに答えている様子

